

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 結果公表シート

香芝市立認定こども園真美ヶ丘東幼稚園

1. 本園の教育目標

○ 心豊かでいきいきとした子どもを育てる

【具体目標】

- ・心身ともに健康で、明るく元気な子どもを育てる
- ・自ら意欲的に遊びを創造していける子どもを育てる
- ・豊かな感性を持ち、喜んで表現していける子どもを育てる

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

研究主題 「明日につながるみんなの声」

～ 一人一人の個性を受け止め さまざまな経験を通して 主体性を育む保育をめざして ～

- 「子ども理解」に視点を当てた保育内容の充実に取り組み、職員の資質向上に努める。
- 一人一人の園児が安心して自己発揮できる環境づくりに努める。
- 基本的な生活習慣の確立と規範意識の芽生えを大切にしながら生きる力の基礎を育む。
- 学びや生活の基盤となる資質・能力を意識し、小学校以降の学びにつなげられるようにする。
- 家庭や地域との連携を深めながら教育の推進に努める。
- 災害時などの行動の方法がわかり、安全に気を付けて行動できる力を身に付ける。

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1) 保育内容の充実と保育力の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究主題についての取組として「子ども理解」に視点を当てた保育の振り返りを継続した。15分～20分間と時間を決め、クラスごとに、時には学年ごとに、職員が園児の育ちや保育の様子を話すことで、一人一人の園児の育ちを再確認したり他の職員の考えや思いを共有したりすることができ、生きる力の基礎となる資質・能力が育まれるために必要な関わりや環境構成について考え実践につなげることができた。日々の振り返りは職員の資質向上にもつながっていることを実感している。
(2) 安心安全な環境づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心して過ごすことができる園の環境づくりを常に心がけ、職員の様々な気付きや保護者の方、地域の方々の声を受け、できるだけ早急に対応できるようにした。関係機関と連携し、園児の手の届かない正門上部に鍵を取り付けたり施錠の確認を職員で徹底したりするなどした。 ・保育中に起きた怪我などの事案について、原因と対応策について職員で必ず共有し事故を防ぐことができるように努めた。多数の職員の共有を図るため、口頭での呼びかけ、ホワイトボードや掲示物で知らせるなど複数の方法を工夫した。 ・園児が「やってみたい!」「ためしてみたい!」と思えるような遊びの場の工夫を保育の振り返りから考え、職員で試行錯誤しながら進めることができた。
(3) 地域・関係機関・保護者と連携し地域に根ざしたこども園	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育所、小学校、中学校との交流を様々な方法で行うことができた。交流前には職員間で事前に打ち合わせをしたり、交流方法の提案をしたりすることができ、互恵性につなげることができたと感じる。 ・地域の老人会の方々にご協力いただき、昔ながらのお餅つきを園児が経験することができた。 ・多様な利用形態の保護者がいるこども園での行事の開催について、年度当初に年間計画を配布したことで、保護者参加がしやすかったというご意見を多くいただくことができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価・結果

- ・園の教育目標である「心豊かでいきいきとした子どもを育てる」ことを職員が常に意識できるように、また保護者の方や地域の方々に知っていただくことができるように、園正門近くのピロティに掲示している。今年度は研究主題に迫る方法として保育の振り返りの継続、園内の研修の充実、外部の講師先生を招いての保育研修の実施を行ってきた。その中で園児にどのような力を身に付けさせたいのかというねらいをしっかりと持ち、職員の関わりや環境構成を考えていくことの大切さを明確にすることができた。今後も、保育で大切にしたいことを一人一人の職員が意識しながら、チーム力を高め保育内容の充実に取り組んでいきたい。
- ・こども園のよさを活かしながら、保護者や地域の方々に親しまれ地域に根ざした園づくりをめざし、園の取組や情報の発信を機を逃さず行っていくことができるように努めたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育内容の充実と 保育力の向上	<ul style="list-style-type: none">・「子ども理解」に視点を当てた保育の振り返りの継続、振り返り方法の工夫・保育環境の見直し、園児がわくわくする保育環境の創意工夫・職員研修方法の工夫
子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・未就園児保育の充実・多様な利用形態の保護者も参加できる絵本の広場などの実施
地域に根ざした園づくり	<ul style="list-style-type: none">・園の取組や情報の発信の工夫・職員が地域を知る機会をもつ

6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

- ・ 教師主導にならず、子どもの育ちをしっかりと捉えながら遊びや行事を推進されていたことは、子ども自身が自己発揮できる環境であったと思う。
 - ・ 生活発表会では年齢別の育ちを考えた劇遊びなど、子どもたちも教師も無理なく取り組んでいたと感じた。
 - ・ 園内外の防犯については、課題があれば早急に対応していた。
 - ・ 職員の保育に対する姿勢や思いをボードに貼ることについては、自分の保育の振り返りや職員相互の共通理解につながり、今後も無理なく続けていただきたいと思う。
 - ・ 今年度は運営や子どもたちへの配慮など、様々なことに対して先生同士で意見を交わしているのがよくわかり、評価がしやすかった。
 - ・ 実際に仕組みや取り組み方、モチベーションや考え方などを変えるということは、とても難しいと思っていたが、小さな工夫や意味が明確にされているうえでの行動は、人の心も大きく動かすことがよくわかった。先生方がこの一年で取り組まれてよかったものが真美ヶ丘東幼稚園で続き、さらにもっと素敵な園となるよう願っている。
- 評価委員の皆様方からいただいたご意見をしっかりと受け止め、職員で気持ちを一つにし、園の教育力を高め、園児にとって安心して自己を発揮できる園になるように努めていきたい。また、地域の方に愛される園づくりに努めていきたい。